

議会報告・意見交換会テーマ「飯田市への人の流れをつくるためには」

産業建設委員会では、令和3年度～令和4年度にかけて「飯田市への人の流れをつくるためには」をテーマに掲げ、所管事務調査を進めてきています。

飯田市は、近い将来リニア中央新幹線の開業、三遠南信自動車道の全線開通を控えており、移住定住だけでなく、関係人口・交流人口の増加も含めて飯田市への人の流れをつくるための施策に取り組んでいます。

今回の議会報告・意見交換会では、飯田市への人の流れをつくるために、飯田市（南信州）の強み（魅力）を磨き上げ、その上でどの様に外へ情報発信を行っていけばいいのか等について意見交換させていただきます。

1 調査研究活動の振り返り

【令和3年度】

11月9日 オンライン会議

富山県高岡市 テーマ「魅力的な観光地域づくりと広域観光の推進」

〃 (1)「新高岡駅を活用した広域観光推進事業について」

〃 (2)「周辺都市と連携した広域観光の推進について」

愛媛県西条市 テーマ「チャレンジを応援するまちの取り組み」

〃 (1)「ローカルベンチャー誘致・育成事業について」

〃 (2)「民間企業（モンベル）との連携による観光振興について」

12月3日 宅地建物取引業協会南信支部との意見交換会（農地法等）

【令和4年度】

5月3日 大学生YouTuber「エポックのじもと！」との意見交換会

5月9日 アルプスウェア株式会社との意見交換会

7月5日～7日 管外視察

愛媛県西条市「西条市の移住定住施策について」

〃 「ひと・夢・未来創造拠点複合施設」視察

香川県高松市「中心市街地再開発事業

中心市街地のにぎわい復活を目指した拠点づくりについて」

〃 丸亀町商店街「中心市街地再開発事業

中心市街地及び商店街活性化の取り組みについて」

岡山県笠岡市「多様な世代の移住の流れをつくる政策について」

8月8日 大学生YouTuber「エポックのじもと！」との意見交換会

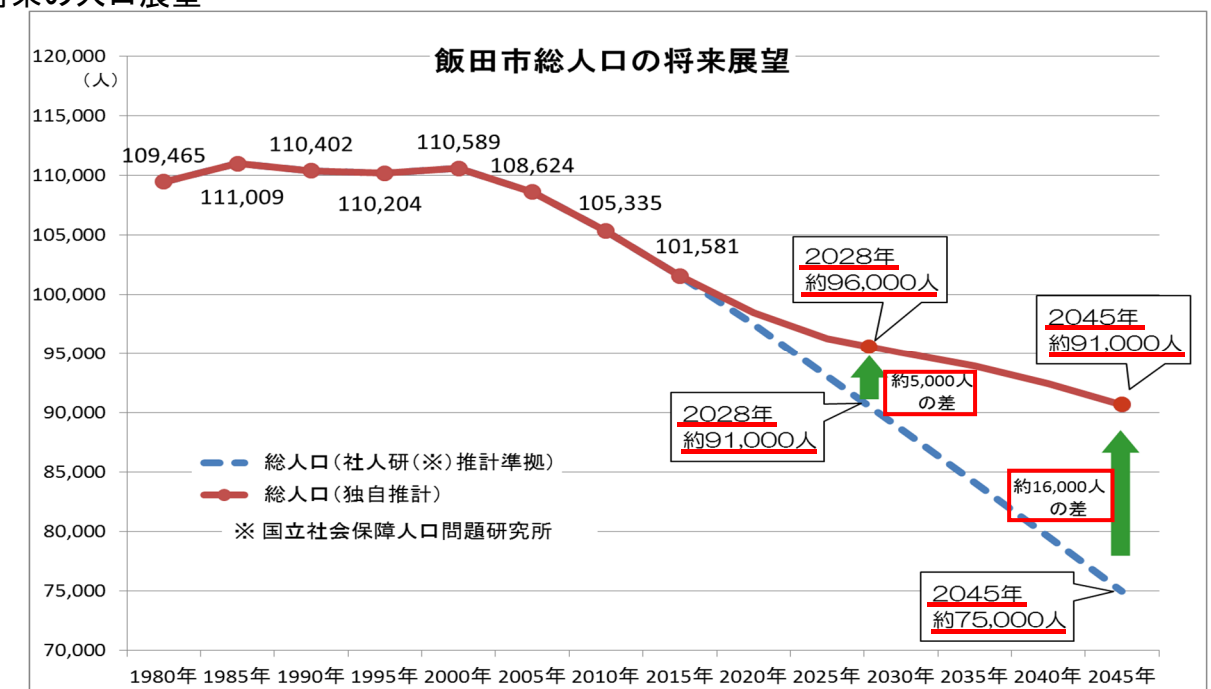
8月26日 地域連携DMO 株式会社南信州観光公社との意見交換会



大学生 YouTuber
が手掛ける
「エポックのじもと！」
をご覧いただける方は、
左記に記載の QR コード
を読み取ってください

2 「いいだ未来デザイン 2028」における飯田市の人口ビジョン

○将来の人口展望



【合計特殊出生率の設定】2014年:1.76 → 2028年:1.92 → 2045年:2.07
【社会動態の設定】2015年:-200人 → 2028年:+300人 → 2045年:+150人

○滞在（関係・交流）人口の目標値

【滞在人口の目標値】

	平成 26 年 (2014 年)	平成 40 年 (2028 年)	平成 57 年 (2045 年)
休日滞在人口率	1.44 倍	1.62 倍	2.00 倍
休日滞在人口 (人)	151,000	156,000	182,000

※2 滞在人口：市町村単位で2時間以上滞留した人の数をいう。
※3 滞在人口率：滞在人口÷国勢調査人口で表され、ある地域の滞在人口が国勢調査人口と比べてどれだけ多いかを示している。
【出典：株式会社Agoop「流動人口データ」】

《意見交換したい内容》

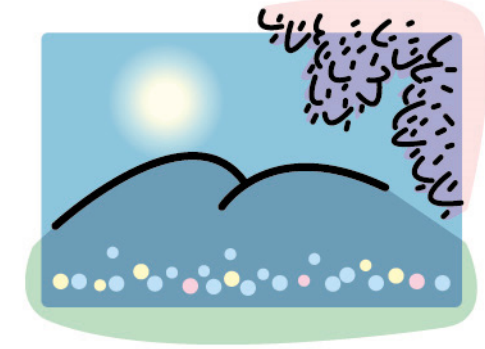
強み（魅力）

- 飯田の強み（魅力）は何だと思えますか？
- ★飯田の強み（魅力）を磨き切れていると思えますか？



強み（差別化）

- 飯田の強みは他所と何が違うの？
- ★差別化することで「強み（魅力）」として映りませんか？



内への情報発信

- もしかして「飯田には何もない」が口癖になっていませんか？
- 「何もない」のではなく「知らない」だけでは？身近なものが「当たり前」すぎて「盲点」になっていませんか？
- ★改めて地元の事を知るために、何があれば「なるほど！」と思えますか？

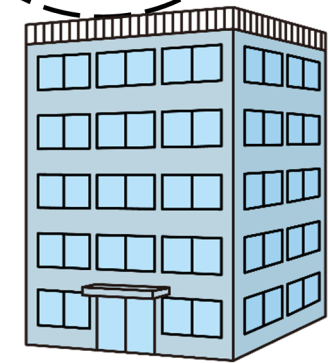
外への情報発信

- 飯田の強み（魅力）を発信できますか？
- どんな発信の仕方が考えられますか？
- ★どうすれば自ら自信をもって「強み（魅力）」を発信できますか？



働く場所

- 働く場所を簡単に探すことができますか？
- ★探す手段として何があると思えますか？
- ★働く場所の紹介はわかりやすいと感じていますか？



住む場所

- 住む場所を簡単に探すことができますか？
- ★探す手段として何があると思えますか？
- ★地域の受入態勢は整っていますか？



UIJターン

- 若者はなぜ飯田に帰ってこられるには？
- なぜ飯田に帰ってこないのでしょうか？
- ★飯田へ帰ってきてもらうのに足りないものは何だと思えますか？

中心市街地

- 日常的なまちの賑わいをつくるには？
- 賑わいづくりはイベントだけでいいの？
- ★皆さんはどのように考えますか？



会報告・意見交換会テーマ 「コロナ収束後を見据え飯田への人の流れをつくるには」

日本経済新聞や田舎暮らしの本（宝島社）の記事として、「多様な働き方が可能な条件がそろったトップ10」や「住みたい田舎ランキング」の上位に当市がランクインされていることはご存じですか？都市から地方への回帰が起き始めている中において周りからは大変ありがたい評価をいただいておりますが、このことを私たち市民一人ひとりが実感しているのでしょうか。せっかくいただいた高い評価を、テーマにある「コロナ収束後を見据え飯田への人の流れをつくるには」どうしていけばいいのか、下記に示す記事と20地区で作成されている基本構想・基本計画、及び既に取り組み始めている事例をもとに意見交換を行います。

日本経済新聞

記事利用について

多様な働き方ができる自治体、「10万人都市」上位 本社・東大調査、首位は石川・小松

2021/7/21付 | 日本経済新聞 朝刊

多様な働き方が可能な条件がそろった トップ10

順位	都市	総人口	総合点
1	石川県小松市	10万8265人	67.0
2	鳥取市	18万6960	66.0
3	富山県高岡市	17万0493	65.5
4	愛媛県西条市	10万8961	64.5
5	長野県飯田市	10万0702	64.0
6	青森市	28万1232	63.5
7	金沢市	45万2220	62.5
	福井市	26万3152	62.5
9	新潟県上越市	19万1197	62.0
	滋賀県彦根市	11万2975	62.0
	福島県会津若松市	11万8322	62.0

(注)総合点は80点満点。平均通勤時間や地域内の経済循環率、公衆無線LANスポット数などの8指標を指数化して算出した

新型コロナウイルス流行を機に、働く場としての中堅都市の潜在力が浮かんできた。日本経済新聞と東京大学は各種都市データを集計し、多様な働き方が可能な特徴を点数化。主要287市区に順位をつけると、人口10万人の石川県小松市が首位となった。トップ30の68%を10万人台の都市が占めた。新たな職・住スタイルに適した環境づくりが都市の成長力を左右する。(関連記事を社会1面に)

都市の競争力は人口規模や企業の立地数で測ることが多かった。税収が増えればインフラが整い、集積度が高まる。大都市にヒト、モノ、カネが流れてきたのはこうした循環があったからだ。

「田舎暮らしの本（宝島社）」による

2021年版「住みたい田舎」ベストランキング

★エリア別総合部門ランキング（甲信エリア【山梨県・長野県】）



- 1位 長野県飯田市 99.59点
 - 2位 長野県辰野町 98.59点
 - 3位 長野県伊那市 98.12点
 - 4位 山梨県北斗市 94.81点
 - 5位 長野県飯山市 94.23点
- ※順位は点数順
※小数第3位以下切り捨て

(出典：田舎暮らしの本 Web/宝島社の田舎暮らしの本の公式WEBサイト 2021/3/31 配信記事)

2019年版第7回「住みたい田舎」ランキング

■大きなまちランキング

『若者世代が住みたい田舎部門』

- 第1位 鳥取県鳥取市
- 第2位 栃木県栃木市
- 第3位 長野県飯田市

『自然の恵み部門』

- 第1位 鳥取県鳥取市
- 第2位 長野県飯田市
- 第3位 静岡県浜松市

(出典：宝島社『田舎暮らしの本』2月号 「2019年版 住みたい田舎ベストランキング」)



産業建設委員会の所管事項に係る各地区の基本構想・基本計画の取組項目

No.	地区名	計画期間	産業建設委員会の所管事項に係る各地区の基本構想・基本計画の取組項目抜粋
1	橋北	2019 ～ 2028	・若者が住みやすい魅力あるまちをつくる 行事・イベント情報の発信 若者が活躍できる場・交流イベント、若者に向けた居住環境 PR ・空き家を若者が住める環境に整備し、有効活用を図り若者定住を促進する（橋北空き家バンクの立ち上げ）
2	橋南	2019 ～ 2028	・若者がチャレンジできる街・・・空き家、空き店舗の活用促進 ・都市型住宅の提供 ・都市からの企業誘致 ・子育て世代の移住、定住
3	羽場	2015 ～ 2027	・西部山麓線が南信州の環状線となり眺望の良い交流推進路線となるよう、隣接する地域と協働した整備の推進 ・空き家及び空き地の情報を自治会を通じて羽場まちづくり委員会に集約し、利活用を模索
4	丸山	2015 ～ 2024	・若者が定住し、スポーツ、イベント等コミュニケーションが活発に図られる丸山 ・地域外から、丸山に一時的に訪れる人びとへの、優しい対応ができる丸山 ・風越山の魅力の確認 ～伝統と時代を超えた住民のつながり～（白山社奥宮、石碑、石仏、川柳、短歌等を親しむための登山やウォーキングの奨励）
5	東野	2018 ～ 2027	・「桜並木」や「ラウンドアバウト」を拠点とした四季折々のイベント開催による郷土愛の醸成（※移住した人とのつながりを深めるために取り組む？） ・市内在住の学生を含めた、若者が集うイベントの開催 ・空き家を活用した、若者の定住促進
6	座光寺	2017 ～ 2028	・田舎暮らしを実感できる住宅や農地付き住宅など、都市住民が魅力を感じることのできるような住環境を目指す ・駅の徒歩圏内に集積する文化財の散策コース、桜、新緑、果樹などをアピールしたトレッキングコースの整備
7	松尾	2020 ～ 2029	・鳩ヶ嶺八幡宮や天竜川を活かした新たな交流の促進 ・神前結婚式、御朱印ブーム、地場産業と連携するなど、工夫して観光客の増加を図る
8	下久堅	2018 ～ 2022	・若者の定住を増やすための、用地確保、整備の推進 ・空き家、空き地の現状把握を行い、UIターン・移住希望者の受け入れと、幅広い利用の検討 ・TOJコースを利用したレジャー等の模索と誘客の検討
9	上久堅	2009 ～ 2018	・若者定住“地域振興”住宅の整備促進 ・観光農業の振興 ・豊かな自然と文化を活かした「観光」（グリーンツーリズム、体験教育旅行）の推進
10	千代	2021 ～ 2030	・貸家と農地の一体的利用を視野に、週末農業、別荘、お試し暮らし、移住等の情報を提供し、人生の楽園構想を進める ・自然に親しむ観光フィールドづくり ・農村農業、山村林業を体験できる農家民泊受け入れの促進

No.	地区名	計画期間	産業建設委員会の所管事項に係る各地区の基本構想・基本計画の取組項目抜粋
11	龍江	2010 ～ 2020	・「飯田市地域振興住宅制度」等を有効に活用し、住宅建設などによる環境整備を促進する ・I・Uターンの呼びかけを積極的に行い、市の施策と協働しながら若者定住人口の増加を図る ・天龍峡の観光再生の具体的な取り組みにおける積極的な関与（まちと森の道整備、観光ご案内制度、天龍峡吟行適地宣言、昭和乙女の会など） ・観光とタイアップした観光農園の取り組みの支援 ・三遠南信州自動車道の開通と龍江振興ICを利用した新しい観光需要に対応した取り組み（りんご狩りやイチゴ狩り等の充実など）の検討
12	竜丘	2014 ～ 2030	・地域資源を活かしたグリーンツーリズムの展開 ・時又灯ろう流しや初午はだか祭り、鈴岡城址公園つつじ祭りなど、既存の観光資源を活用するとともに、ボランティアガイドを育成し、誘客等により地域経済の活性化を図る
13	川路	2011 ～ 2021	・天龍峡百年再生プロジェクトの策定と推進 ・天龍峡エコバレー・生活関連ゾーンの充実 ・農産加工施設等の誘致
14	三穂	2021 ～ 2030	・市民農園を作り消費者との交流の場をつくる ・空き家、農地等の活用による農業の担い手確保 ・都市と地方でのWワーク戦略
15	山本	2011 ～ 2020	・体験・滞在型の観光の振興 ・若者の交流と連携
16	伊賀良	2021 ～ 2026	・笠松山麓・伊賀良扇状地の美しい田園風景を活かした、観光産業の振興 ・スポーツ施設や多目的広場を整備・拡充していくことで観光産業の振興を図る
17	鼎	2019 ～ 2030	・農業・商工団体と連携し、観光資源を掘り起こし情報発信を行う ・リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通を見据え、妙琴公園などの環境整備・活用に取り組む
18	上郷	2014 ～ 2023	・野底山森林公園の活性化と交流人口の増加
19	上村	2020 ～ 2029	・自然環境保全（エコパーク・ジオパークの活用促進） ・自然体験を通じた都市部との交流促進
20	南信濃	2020 ～ 2029	・観光と交流の拠点が連携した交流・関係人口の拡大 ・南アルプス、旧遠山森林鉄道遺構群、温泉などを活かした観光の推進 ・若者等定住補助金の継続した支援、住宅（空き家の活用）の紹介

2022年版第10回「住みたい田舎」ベストランキング

発表! 2022年版 第10回「住みたい田舎」ベストランキング 田舎暮らしの本 2022年2月号 特別定価 950円

田舎暮らし

大反響!

「旬の移住適地」を探る 編集部独自アンケートに 全国751市町村が回答!

アウトドア道具の逸品 2022

別冊付録

アウトドア道具の逸品 2022

キャンプ道具マニアのYouTuber「FUKU」が、今注目のブランド&ギアを厳選紹介!

「住みたい田舎」ベストランキング

2022年版 第10回

人口別に5つのグループに分け、それぞれを「若者世代・単身者」「子育て世代」「シニア世代」の3世代別にランキング。

全国12エリア別のランキングも発表します!

第10回 「住みたい田舎」ベストランキング

人口5万人以上 20万人未満のまち 3部門ランキング発表!

回答自治体が173あった「人口5万人以上20万人未満のまち」の3部門のランキングです。

※アンケート項目、点数の出し方はP32～35をご覧ください
※順位は点数順です。ここでは、小数第3位以下を切り捨てて表示しています

Column

子育て・教育で絞り込む手あり

20万人未満まで拡大すると、本誌ベストランキング常連の県庁所在地・鳥取県鳥取市、山口県山口市も顔を出す。上位にランクインしたのは起業支援で有名な愛媛県西条市、子育て支援の手厚い愛媛県今治市、教育にきめ細かな支援をしている大分県日田市、など。この規模の自治体になると医療や就業の条件が整っているのが普通だが、教育にまで目配りしている自治体はそう多くはない。子育て世代はそこに注目するのも手だ。

子育て世代が住みたいまち

※アンケート項目、点数の出し方はP32～35をご覧ください

順位	自治体	点数	掲載ページ
1	愛媛県 今治市	126.61点	P56
2	愛媛県 西条市	126.57点	P58
3	大分県 日田市	119.71点	P76
4	長野県 飯田市	117.52点	P71
5	大分県 日田市	115.99点	P76
6	京都府 舞鶴市	113.26点	P73
7	山形県 鶴岡市	112.14点	P66
8	岡山県 津山市	110.45点	P74
9	福島県 南相馬市	110.12点	P66
10	岐阜県 中津川市	110.08点	P72
11	栃木県 足利市	108.75点	P68
12	鳥取県 鳥取市	107.63点	
13	兵庫県 豊岡市	107.39点	P73
14	埼玉県 秩父市	105.81点	P69
15	山口県 宇部市	105.52点	
16	岐阜県 高山市	103.44点	
17	秋田県 由利本荘市	103.01点	P67
18	岩手県 一関市	102.89点	P66
19	栃木県 栃木市	102.54点	P68
20	鹿児島県 薩摩川内市	102.32点	P77
21	徳島県 阿南市	102.29点	P75
22	宮城県 気仙沼市	101.76点	P67
23	長野県 伊那市	101.73点	P67
24	石川県 白山市	101.69点	P70
25	愛媛県 新居浜市	99.33点	
26	長野県 茅野市	99.01点	
27	三重県 伊賀市	99.01点	P72
28	長野県 佐久市	98.48点	P71
29	宮城県 栗原市	98.24点	
30	栃木県 鹿沼市	97.70点	
31	宮城県 郡城市	97.26点	
32	大分県 佐伯市	97.19点	
33	三重県 名張市	96.94点	P71
34	熊本県 天草市	96.09点	P76
35	栃木県 小山市	95.98点	
36	山口県 山口市	95.93点	
37	宮城県 登米市	95.70点	
38	静岡県 沼津市	94.36点	P72
39	山形県 酒田市	94.32点	P66
40	茨城県 日立市	93.86点	
41	大分県 中津市	91.80点	
42	長野県 上田市	91.56点	
43	島根県 出雲市	91.38点	
44	秋田県 能代市	91.28点	
45	鹿児島県 霧島市	91.00点	
46	石川県 七尾市	90.20点	
47	青森県 弘前市	90.18点	P67
48	福岡県 八女市	89.82点	

若者世代・単身者が住みたいまち

※アンケート項目、点数の出し方はP32～35をご覧ください

順位	自治体	点数	掲載ページ
1	愛媛県 西条市	100.94点	P58
2	愛媛県 今治市	99.88点	P56
3	大分県 日田市	94.98点	P76
4	長野県 飯田市	92.04点	P71
5	兵庫県 豊岡市	92.00点	P73
6	岐阜県 中津川市	91.01点	P72
7	大分県 宇佐市	89.30点	P76
8	鳥取県 鳥取市	86.60点	
9	山形県 鶴岡市	86.52点	P66
10	岡山県 津山市	86.02点	P74
11	福島県 南相馬市	85.20点	P66
12	京都府 舞鶴市	83.55点	P73
13	岐阜県 高山市	83.18点	
14	岩手県 一関市	83.02点	P66
15	埼玉県 秩父市	82.36点	P69
16	山口県 宇部市	81.68点	
17	栃木県 足利市	80.60点	P68
18	長野県 茅野市	79.39点	
19	山形県 酒田市	79.09点	P66
20	山口県 山口市	78.32点	
21	長野県 上田市	78.07点	
22	鹿児島県 薩摩川内市	78.01点	P77
23	宮城県 気仙沼市	77.95点	P67
24	長野県 伊那市	77.52点	P67
25	宮城県 登米市	75.96点	
26	宮城県 郡城市	75.77点	
27	三重県 伊賀市	75.60点	P72
28	大分県 佐伯市	75.43点	
29	秋田県 由利本荘市	74.95点	P67
30	栃木県 栃木市	74.49点	P68
31	徳島県 阿南市	74.24点	P75
32	石川県 白山市	74.07点	P70
33	熊本県 天草市	73.73点	P76
34	長野県 佐久市	73.24点	P71
35	栃木県 鹿沼市	72.19点	
36	愛媛県 新居浜市	72.13点	
37	宮城県 栗原市	71.95点	
38	広島県 三原市	71.34点	
39	静岡県 静岡市	71.34点	
40	静岡県 沼津市	71.21点	P72
41	青森県 弘前市	70.85点	P67
42	島根県 出雲市	70.41点	
43	茨城県 日立市	69.81点	
44	石川県 七尾市	69.56点	
45	宮城県 石巻市	69.42点	
46	福岡県 八女市	68.88点	
47	秋田県 能代市	68.39点	
48	大分県 中津市	68.11点	

シニア世代が住みたいまち

※アンケート項目、点数の出し方はP32～35をご覧ください

順位	自治体	点数	掲載ページ
1	愛媛県 今治市	89.94点	P56
2	愛媛県 西条市	87.21点	P58
3	大分県 日田市	80.27点	P76
4	長野県 飯田市	79.19点	P71
5	大分県 日田市	78.16点	P76
6	岡山県 津山市	78.07点	P74
7	鹿児島県 薩摩川内市	77.90点	P77
8	埼玉県 秩父市	77.81点	P69
9	岐阜県 中津川市	77.32点	P72
10	鳥取県 鳥取市	76.42点	
11	京都府 舞鶴市	76.28点	P73
12	兵庫県 豊岡市	76.03点	P73
13	宮城県 郡城市	75.88点	
14	栃木県 栃木市	75.85点	P68
15	山形県 鶴岡市	75.62点	P66
16	長野県 茅野市	75.45点	
17	山形県 酒田市	75.41点	P66
18	福島県 南相馬市	75.09点	P66
19	山口県 宇部市	75.08点	
20	三重県 伊賀市	74.36点	P72
21	石川県 白山市	74.25点	P70
22	栃木県 足利市	74.19点	P68
23	長野県 伊那市	74.14点	P67
24	岩手県 一関市	73.72点	P66
25	岐阜県 高山市	73.18点	
26	京都府 福知山市	73.07点	
27	秋田県 由利本荘市	72.61点	P67
28	宮城県 登米市	72.60点	
29	愛媛県 新居浜市	72.14点	
30	長野県 佐久市	71.96点	P71
31	福井県 坂井市	71.60点	
32	静岡県 静岡市	71.42点	
33	宮城県 栗原市	71.17点	
34	広島県 三原市	70.65点	
35	鹿児島県 霧島市	70.31点	
36	栃木県 小山市	69.75点	
37	大分県 佐伯市	69.61点	
38	秋田県 能代市	69.59点	
39	三重県 名張市	69.21点	P71
40	徳島県 阿南市	68.84点	P75
41	新潟県 三上市	68.72点	P65
42	栃木県 鹿沼市	68.52点	
43	山口県 山口市	68.32点	
44	宮城県 気仙沼市	67.66点	P67
45	石川県 七尾市	67.64点	
46	長野県 上田市	67.63点	
47	島根県 浜田市	67.27点	
48	静岡県 沼津市	66.46点	P72

(出典：宝島社『田舎暮らしの本』2月号 「2022年版 住みたい田舎ベストランキング」)